

資料2-3

科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
宇宙開発利用部会
ISS・国際宇宙探査小委員会
(第2回) H26.5.16



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

共通的なシステム運用経費 (CSOC) の分担について

平成26年5月16日(金)

文部科学省
研究開発局

1. 共通的なシステム運用経費の分担



(1) 共通的なシステム運用経費の分担 (MOU第9条3項)

各極は、自らが提供した要素の運用を行うだけでなく、ISS運用にかかる共通的な経費(CSOC: Common System Operations Costs)を、利用用資源の配分(日本は12.8%)に応じて、衡平に分担する。

※ CSOCには、地上運用管制に係る経費(24時間でISSを運用管制するオペレータの person 費、運用管制施設の維持管理費、食料など共通的な補給品の調達費用等)、ISSへの物資輸送経費(宇宙飛行士の打上げ・帰還、ISS全体を維持するための消耗品・食料・水等の輸送等)が含まれる。



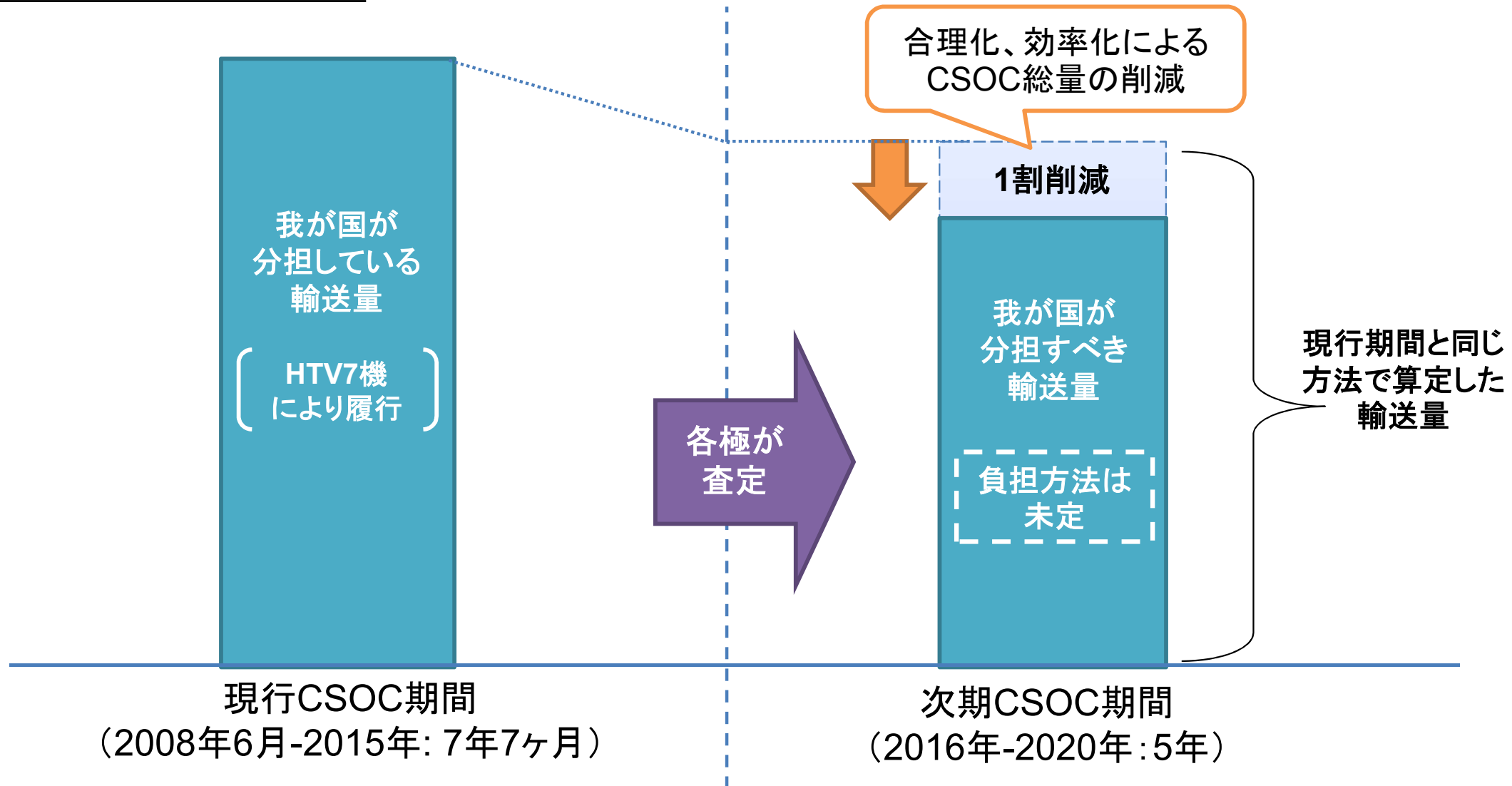
(2) 我が国の共通的なシステム運用経費の分担方法 (IGA第15条5項、MOU第9条5項)

上記の共通的なシステム運用経費の分担に関して、NASAへ現金を拠出する形ではなく、我が国がHTVにより物資輸送することで、我が国の分担責任を果たしている。



2. 日本のCSOC負担量と次期期間に向けた削減

- 現行期間での実績を踏まえ、CSOC全体の合理化、効率化等について米国と交渉。
- 次期期間のCSOCを現行期間と同じ方法での算定量に対し1割削減。(それに伴い、日本の分担も1割削減)



(参考) 我が国のISS年間経費



利用経費(宇宙実験の実施に係る経費)

- ・共通的な実験装置や支援機器の開発
- ・利用テーマの宇宙実験準備
- ・共通基盤技術や地上設備の維持・提供

運用経費

- ・運用管制
- ・技術支援
- ・宇宙飛行士の訓練
- ・情報管理・国際調整等
- ・運用システムの維持
- ・保全補給
- ・安全・ミッション保証

物資輸送経費

- ・H-IIBロケット調達・打上
- ・HTV調達・運用

FY2010実績:
約404億円

FY2011実績:
約399億円

FY2012実績:
約388億円

FY2013予算:
約380億円

(今年度)

FY2014予算:
約357億円

